

令和4年度 学校評価報告書に係る学校運営協議会委員の意見及び評価

評価 4:十分に達成 3:おおむね達成 2:努力を要する 1:取組内容の修正・変更を要する。

項目	重点指導項目	方策・手立て	学校運営協議会委員の意見	委員の評価
豊かな心の育成	基本的な生活習慣定着・規範意識の醸成	いじめ等の未然防止の取組を充実させるとともに事案発生時の報告・連絡・相談体制の整備と確実に丁寧な初動対応を実施する。	<p>【肯定的な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策、あいさつ指導、きまりを守った生活指導、おもいやりのある行動の指導、ボランティア活動等、先生方の指導がかなりの部分で行き届いていることをアンケート結果などから感じています。このように先生方がまとまって指導に当たられていることに敬意を表します。ただ、児童は年々変わります。先生方も変わります。毎年毎年、気持ちも新たに、これからがんばっていただきたいと思えます。 ・あいさつは、基本的な生活習慣であり、全体的にはよくできているができない子どもたちもいる。社会に出てもとても大事になるので、会釈の大事さを教えてほしい。 ・学校訪問時に子どもたちは大きな声であいさつしてくれます。また、廊下歩行時も規則に沿って歩いているようで、概ね生活習慣が定着していると思えます。 <p>先生方みなさんよくがんばって頂いております。ありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「先に届くあいさつ」は、朝の見守りの中でも元気のよい声が聞こえます。あいさつは、まちを明るく住民を元気にしてくれる子どもたちからの贈り物のように思えます。その時だけでなくずっと継続できるといいですね。 ・外部から見える児童の思いやりの行動に、朝の登校時の歩き方からも垣間見れます。班の低学年の児童が歩くのが遅れると立ち止まって待ったり、時々ふり返ってちゃんと来ているか確かめる様子など高学年がしっかり見守っていることに感心させられます。 ・誰かに喜んでもらうことで自分の心も晴れやかになるという意識のもとで、一人一鉢活動や募金活動などから自分が役に立っていることへの自信につなげていってほしいです。 <p>【課題や今後の要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前から下校時に交差点の角に立って交通指導を行っていたが、その際も子どもたちにできるだけ話しかけて実態把握に努めようとするが、「いじめ」の実態までは不明であった。 ・相手を思いやる心をもつことは、家庭における会話の中で親がことあるごとに指導していくことも大切であると思われる。 ・いじめは、子どもだけでなく大人社会でも問題視されているので、「人の痛み」を自分に置き換えることのできる「人づくり」を学校・地域で取り組んでいきたいものです。 	3.1
	相手を思いやる心の育成	あいさつや言葉遣い、廊下歩行など基本的な生活習慣の定着を図る。	<p>児童、保護者共に9割4分が「学校で楽しく過ごせている」とあり、この結果は昨年とほぼ変わりがない。先生方は、機会をとらえて児童に寄り添った対応をとって頂いているが、残りの6%の子どもたちが気になる。親にも悩みを話せず、学校に居場所がないと感じている児童がいないことを願う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の評価と先生方の評価の差異が大きい。職員目線はどうしても常に正しい行動を求めていることによると思う。児童に規範意識をもたせることと主体的に物事を考え行動することができている児童を育成することの接点はどうなんだろうか。職員のいうことを聞く児童＝規範意識が醸成されて児童ではないと考える。見た目だけで職員が安心することがあってはならない。 ・相手を思いやる心の育成はとても大事であるが、児童の口論（けんか）はある意味あって当然。それを児童の学びにどうつなげていこうかが大事だと思います。当事者でない児童にとっても、友達関係を考えていく大事な機会になると思う。もちろん、そのためには先生方の気付きが重要になってくるので大変だと思うが、 ・先生方の熱心な取組が児童に伝わっていると思う。授業でも「耕心」をねらいとして、いろいろな事例を材料として、子どもたちに自由に考えさせる時間がとれるといいと考える。また、福祉教育は単なる体験に終始してしまわないよう、社会福祉協議会等と密に連携をとっていただきたい。 ・相手を思いやる心をもつことは、家庭における会話の中で親がことあるごとに指導していくことも大切であると思われる。 ・自分本位を改める。 ・他利行のすすめ ・弱い立場の人を温かく包んであげる。 ・たくさんの人たちと触れあう。 ・児童の挨拶は素晴らしいと思うが、2割程度は否定的であることが意外であった。「自分からあいさつをする」姿が、児童の手本となれるよう、大人である私共保護者及び先生方に根気強く行う必要があると思います。 ・いじめ問題は外部からも見えにくく気付きにくいので、些細なことでも地域の中で気付いたことがあれば学校に報告するなどの連携をとっていただきたい。 ・いじめは、子どもだけでなく大人社会でも問題視されているので、「人の痛み」を自分に置き換えることのできる「人づくり」を学校・地域で取り組んでいきたいものです。 	
	福祉教育や体験活動による心の教育推進	相手の立場に立つ指導の強化と様々な交流の充実を図る。	<p>【肯定的な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の全国学力調査で、県の平均を上回ったという結果は、先生方の日々の努力の成果と頭が下がります。研修の他授業の準備等で大変ですが、先生方の御指導を大いに期待しています。 ・学習評価で、全国平均や県、市などとの比較などが出ていますが、これは学校での学習結果もありますが、学習塾・英語塾など、地域・家庭状況の差など、その他の要素も影響している気がします。そんな中でも先生方が努力されていることを感じます。 ・「勉強はよく分かるか」に関して、児童・保護者の評価は高い。職員の評価は「できている」が7割に達していないので、まだまだ工夫の余地は多いと考える。ただ、理解できていると回答している背景に、授業そのものが「楽しい」「面白い」というのがあれば、先生方の授業の質が高いのではないかと。 ・以前の先生方と比べて、現在の先生方のご苦労を感じています。英語教科の必須化、ICTの活用、昔の小学校の先生方に比べると本当に大変な思いをされていると思います。その中で、他校や中学校との合同学習会など色々と努力されている先生方に敬意を払います。 ・学力アップタイムでの指導を評価します。 ・ICT活用は今後のこれからの社会の中で重要なスキルとなるので、児童の関心の深いこの時期に最大限の教育をお願いしたい。 ・ICT活用の場としてのオンライン全校集会では、プレゼン能力も向上しているものと評価します。 ・ICTは活用の仕方でも大きく変わっていく気がします。教える前に、方法熟達の問題が出てくると思います。難しいですががんばってください。 ・ICT活用の市小中プレゼンコンテストに、登校中の見守りの中、四年生が「プレゼンテーションをすることになった。」と誇らしそうに教えてくれました。物静かで真面目な本児心から拍手を送りました。がんばって欲しい。このように挑戦していく児童たちを外部からも応援していきたい。 ・私の知っている子どもの中に、いつも机に向かって子どもがいます。なぜ、そんなに勉強するのと聞いたら、「覚えるのがとても嬉しい」との答えでした。勉強するのが好きになる子どもたちを育ててほしいです。 ・学力が向上しているかどうかは不明であるが、自分の息子の家では週3日は塾に通い努力はしているようである。私は孫が週5日スイミングスクールに練習に行く際は送りの時間でも自分の知っていることを少しでも思い話をしてやっているが、効果があるかは不明である。 ・読書については、読み取る力の育成にもつながりますので、これからも御指導よろしく願います。 ・中学校から見た小学校で定着が必要な内容を意識した指導はとても良いので、続けて欲しい。 ・中学校との連携を深め、一貫教育の充実を期待します。 <p>【課題や今後の要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は年々充実してきていると思う。技術に振り回されるのではなく、使いこなしていくことが求められるのでますますの充実を期待する。プレゼン能力の向上を目指した取組があることで、次代を担う子どもたちに様々な挑戦の機会を作っていただきたい。 ・中学校側の評価を知る機会はあるのか。子どもたちの様子を見る限り、楽しい授業が展開されていると推察する。ただ、仕事柄こども 	
確かな学力の定着	諸調査の経年変化の分析と活用	CRT検査の経年変化から見た各学年の指導上の課題の抽出と重点的な指導を実施する。	<p>【肯定的な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の全国学力調査で、県の平均を上回ったという結果は、先生方の日々の努力の成果と頭が下がります。研修の他授業の準備等で大変ですが、先生方の御指導を大いに期待しています。 ・学習評価で、全国平均や県、市などとの比較などが出ていますが、これは学校での学習結果もありますが、学習塾・英語塾など、地域・家庭状況の差など、その他の要素も影響している気がします。そんな中でも先生方が努力されていることを感じます。 ・「勉強はよく分かるか」に関して、児童・保護者の評価は高い。職員の評価は「できている」が7割に達していないので、まだまだ工夫の余地は多いと考える。ただ、理解できていると回答している背景に、授業そのものが「楽しい」「面白い」というのがあれば、先生方の授業の質が高いのではないかと。 ・以前の先生方と比べて、現在の先生方のご苦労を感じています。英語教科の必須化、ICTの活用、昔の小学校の先生方に比べると本当に大変な思いをされていると思います。その中で、他校や中学校との合同学習会など色々と努力されている先生方に敬意を払います。 ・学力アップタイムでの指導を評価します。 ・ICT活用は今後のこれからの社会の中で重要なスキルとなるので、児童の関心の深いこの時期に最大限の教育をお願いしたい。 ・ICT活用の場としてのオンライン全校集会では、プレゼン能力も向上しているものと評価します。 ・ICTは活用の仕方でも大きく変わっていく気がします。教える前に、方法熟達の問題が出てくると思います。難しいですががんばってください。 ・ICT活用の市小中プレゼンコンテストに、登校中の見守りの中、四年生が「プレゼンテーションをすることになった。」と誇らしそうに教えてくれました。物静かで真面目な本児心から拍手を送りました。がんばって欲しい。このように挑戦していく児童たちを外部からも応援していきたい。 ・私の知っている子どもの中に、いつも机に向かって子どもがいます。なぜ、そんなに勉強するのと聞いたら、「覚えるのがとても嬉しい」との答えでした。勉強するのが好きになる子どもたちを育ててほしいです。 ・学力が向上しているかどうかは不明であるが、自分の息子の家では週3日は塾に通い努力はしているようである。私は孫が週5日スイミングスクールに練習に行く際は送りの時間でも自分の知っていることを少しでも思い話をしてやっているが、効果があるかは不明である。 ・読書については、読み取る力の育成にもつながりますので、これからも御指導よろしく願います。 ・中学校から見た小学校で定着が必要な内容を意識した指導はとても良いので、続けて欲しい。 ・中学校との連携を深め、一貫教育の充実を期待します。 <p>【課題や今後の要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は年々充実してきていると思う。技術に振り回されるのではなく、使いこなしていくことが求められるのでますますの充実を期待する。プレゼン能力の向上を目指した取組があることで、次代を担う子どもたちに様々な挑戦の機会を作っていただきたい。 ・中学校側の評価を知る機会はあるのか。子どもたちの様子を見る限り、楽しい授業が展開されていると推察する。ただ、仕事柄こども 	3.3
	ICTを活用した授業力向上	教科等の指導にICTを活用し、より効果的な活用方法について研究を推進する。	<p>【肯定的な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の全国学力調査で、県の平均を上回ったという結果は、先生方の日々の努力の成果と頭が下がります。研修の他授業の準備等で大変ですが、先生方の御指導を大いに期待しています。 ・学習評価で、全国平均や県、市などとの比較などが出ていますが、これは学校での学習結果もありますが、学習塾・英語塾など、地域・家庭状況の差など、その他の要素も影響している気がします。そんな中でも先生方が努力されていることを感じます。 ・「勉強はよく分かるか」に関して、児童・保護者の評価は高い。職員の評価は「できている」が7割に達していないので、まだまだ工夫の余地は多いと考える。ただ、理解できていると回答している背景に、授業そのものが「楽しい」「面白い」というのがあれば、先生方の授業の質が高いのではないかと。 ・以前の先生方と比べて、現在の先生方のご苦労を感じています。英語教科の必須化、ICTの活用、昔の小学校の先生方に比べると本当に大変な思いをされていると思います。その中で、他校や中学校との合同学習会など色々と努力されている先生方に敬意を払います。 ・学力アップタイムでの指導を評価します。 ・ICT活用は今後のこれからの社会の中で重要なスキルとなるので、児童の関心の深いこの時期に最大限の教育をお願いしたい。 ・ICT活用の場としてのオンライン全校集会では、プレゼン能力も向上しているものと評価します。 ・ICTは活用の仕方でも大きく変わっていく気がします。教える前に、方法熟達の問題が出てくると思います。難しいですががんばってください。 ・ICT活用の市小中プレゼンコンテストに、登校中の見守りの中、四年生が「プレゼンテーションをすることになった。」と誇らしそうに教えてくれました。物静かで真面目な本児心から拍手を送りました。がんばって欲しい。このように挑戦していく児童たちを外部からも応援していきたい。 ・私の知っている子どもの中に、いつも机に向かって子どもがいます。なぜ、そんなに勉強するのと聞いたら、「覚えるのがとても嬉しい」との答えでした。勉強するのが好きになる子どもたちを育ててほしいです。 ・学力が向上しているかどうかは不明であるが、自分の息子の家では週3日は塾に通い努力はしているようである。私は孫が週5日スイミングスクールに練習に行く際は送りの時間でも自分の知っていることを少しでも思い話をしてやっているが、効果があるかは不明である。 ・読書については、読み取る力の育成にもつながりますので、これからも御指導よろしく願います。 ・中学校から見た小学校で定着が必要な内容を意識した指導はとても良いので、続けて欲しい。 ・中学校との連携を深め、一貫教育の充実を期待します。 <p>【課題や今後の要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は年々充実してきていると思う。技術に振り回されるのではなく、使いこなしていくことが求められるのでますますの充実を期待する。プレゼン能力の向上を目指した取組があることで、次代を担う子どもたちに様々な挑戦の機会を作っていただきたい。 ・中学校側の評価を知る機会はあるのか。子どもたちの様子を見る限り、楽しい授業が展開されていると推察する。ただ、仕事柄こども 	
	小中一貫教育の推進	中学校から見た小学校で定着の必要な内容を意識した指導を行う。	<p>【肯定的な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の全国学力調査で、県の平均を上回ったという結果は、先生方の日々の努力の成果と頭が下がります。研修の他授業の準備等で大変ですが、先生方の御指導を大いに期待しています。 ・学習評価で、全国平均や県、市などとの比較などが出ていますが、これは学校での学習結果もありますが、学習塾・英語塾など、地域・家庭状況の差など、その他の要素も影響している気がします。そんな中でも先生方が努力されていることを感じます。 ・「勉強はよく分かるか」に関して、児童・保護者の評価は高い。職員の評価は「できている」が7割に達していないので、まだまだ工夫の余地は多いと考える。ただ、理解できていると回答している背景に、授業そのものが「楽しい」「面白い」というのがあれば、先生方の授業の質が高いのではないかと。 ・以前の先生方と比べて、現在の先生方のご苦労を感じています。英語教科の必須化、ICTの活用、昔の小学校の先生方に比べると本当に大変な思いをされていると思います。その中で、他校や中学校との合同学習会など色々と努力されている先生方に敬意を払います。 ・学力アップタイムでの指導を評価します。 ・ICT活用は今後のこれからの社会の中で重要なスキルとなるので、児童の関心の深いこの時期に最大限の教育をお願いしたい。 ・ICT活用の場としてのオンライン全校集会では、プレゼン能力も向上しているものと評価します。 ・ICTは活用の仕方でも大きく変わっていく気がします。教える前に、方法熟達の問題が出てくると思います。難しいですががんばってください。 ・ICT活用の市小中プレゼンコンテストに、登校中の見守りの中、四年生が「プレゼンテーションをすることになった。」と誇らしそうに教えてくれました。物静かで真面目な本児心から拍手を送りました。がんばって欲しい。このように挑戦していく児童たちを外部からも応援していきたい。 ・私の知っている子どもの中に、いつも机に向かって子どもがいます。なぜ、そんなに勉強するのと聞いたら、「覚えるのがとても嬉しい」との答えでした。勉強するのが好きになる子どもたちを育ててほしいです。 ・学力が向上しているかどうかは不明であるが、自分の息子の家では週3日は塾に通い努力はしているようである。私は孫が週5日スイミングスクールに練習に行く際は送りの時間でも自分の知っていることを少しでも思い話をしてやっているが、効果があるかは不明である。 ・読書については、読み取る力の育成にもつながりますので、これからも御指導よろしく願います。 ・中学校から見た小学校で定着が必要な内容を意識した指導はとても良いので、続けて欲しい。 ・中学校との連携を深め、一貫教育の充実を期待します。 <p>【課題や今後の要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は年々充実してきていると思う。技術に振り回されるのではなく、使いこなしていくことが求められるのでますますの充実を期待する。プレゼン能力の向上を目指した取組があることで、次代を担う子どもたちに様々な挑戦の機会を作っていただきたい。 ・中学校側の評価を知る機会はあるのか。子どもたちの様子を見る限り、楽しい授業が展開されていると推察する。ただ、仕事柄こども 	

項目	重点指導項目	方策・手立て	学校運営協議会委員の意見	委員の評価
たくましい体づくり	ねらいに応じた合同学習の推進	対話的で深い学びにつながる合同学習の計画と実施を行う。	園、保育園（社協で3園経営）で主体的に考え行動するといった姿勢が、小学校に上がると集団行動の中で他の児童と同じでなければならないという風に矯正されてしまっているケースを聞きます。当校ではそのあたりに配慮をお願いしたい。研究授業を通しての深い学びは先生方のスキル向上には必須だと思う。児童の主体性を育むためにも、先生方の更なる研鑽を期待する。	
	新型コロナウイルス感染防止対策の確実な計画と実施	学校での行事・取組・生活において感染防止対策の観点から見直しを図る。	【肯定的な意見】 ・体づくりは食事、運動からの指導も大事です。 ・毎日の教育指導の中で、コロナ対策にまで気を配っておられる先生方のご苦労をお察しします。児童もそれに応えて、マスク・手洗い・消毒など習慣化できているように思います。 ・コロナ感染防止対策の100%はすごいことだと思います。 ・毎日のコロナウイルス対策の実施、本当にご苦労様です。先生方も気を付けてがんばってください。 ・新型コロナウイルス感染防止対策については、学校ではマスクをはめること、手洗いを十分に行うこと等、住民や児童にも定着し少なくなっているものの「0」ではない。今後も家庭や学校でも引き続き「0」を目指して対応をしていきたいものです。 ・防災訓練等がかなり充実して実践されていると感じました。 ・学校危機管理の予告無しでの不審者対応、地震対応、火災時対応の訓練を評価します。 ・火災や地震は繰り返しの訓練で素早く対応できるように日頃の訓練の中で身体で覚えていくように思います。予告無しの訓練は効果がありますね。また、不審者対応の訓練も今の世の中は必須ですね。 ・「子どもが作る弁当の日」は本当に良い実践だと思います。	
	命を大切に取る取組の充実	予告なしの避難訓練と有事に備えた引き渡し訓練を計画・実施する。	【課題や今後の要望】 ・学校でのクラブ活動をもっと活発にやってみようとともに、家庭でも親子が休日等はいっしょに何の運動でもいいので積極的に進めていきたいものです。 ・先生方の日頃のご指導や保護者のご理解により、児童の意識も高くなっていると思う。今後は、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類から5類への移行も予想されるが、習慣付いた感染防止の取組は継続していただきたい。 ・「命」を大切にすることは、誰でも考え対応をしているところであるが、今後も学校での教育はもちろんのこと、各家庭でも「命」の大事さを第一として、事あるごとに教えていきたいものである。 ・命を大切に。 ・たくさんの人と触れあう。 ・大きな「揺れ」があれば安全な場所に逃げる。 ・予告無しの訓練は大事であり、今後も計画的な実施をお願いします。 ・当該項目（健康後の治療率）に関しては、積年の課題であると認識している。しかし、積極的な受診は基本的に保護者の責務であり、学校側の働きかけは現状で精一杯の気がする。 ・昔に比べて、今の子どもたちはむし歯が少ないように思います。親が子どもの健康に気を配っている証でしょう。反面、親が仕事に追われ精一杯のところは子どもまで目が行き届かないのではないのでしょうか。家庭への働きかけをお願いします ・心と身体を甘やかさないで、負荷をかけての鍛錬の実行が必要。 ・弁当の日の夏季休業中の実施は、親子ともにゆとりがあり工夫しながら作る様子が見える。食材からどんな料理が出来上がるのか親子の対話も聞こえてきそうである。弁当の日をきっかけに給食の好き嫌いの解消につながっていくといいですね。 ・食育に関しては、「子どもが自分で作る弁当の日」等の取組を推進されており評価できる。ただ、「朝ごはんを毎日食べているか」についてできていない児童もあり、それが朝食坊でできていないのか保護者が準備していないのか分からないが、この取組が実践しづらい家庭の児童はいないのか気になるところではある。 ・蛋白質・炭水化物・脂肪の三大栄養素をバランス良く摂取する。 ・食物繊維もほどよく献立にのせることを心がける。	3.5
	健康結果を活用した健康な体づくり	自分の健康に対する関心を高めるために、健康診断後の治療率の向上に努める。		
開かれた学校づくり	弁当の日等を利用した食育の推進	食に対する望ましい理解を深めるために「子どもが作る弁当の日」の実践の充実を図る。		
	コミュニティ・スクールの更なる充実	コミュニティ・スクール体制を活用し、熟議を通して学校教育の質的向上を図る。	【肯定的な意見】 ・校長先生の説明を通して、学校と地域が連携し地域の宝である子どもたちの成長を見守りながら、学校・家庭・地域がつながっていく活動（オープンスクール）などが活発に始動していくのが楽しみです。 ・開かれた学校、地域の結びついた学校等について、校長、教頭他先生方のご尽力に感謝しています。コロナウイルスの関係で、なかなか保護者や地域に開放できていない部分もあると思いますが、ホームページの充実や学校便りなどの活用で、それを補っていると思います。これからもがんばってください。 ・当該項目（コミュニティ・スクールの更なる充実）に関しては、学校運営協議会委員としてもっと積極的な関わりをもつべきと考えているが、学校に赴くことが制限される中先生方も難しい運営を強いられたと考えている。 ・働き方改革を有効に活用し、先生方も健康に努めてください。学校が元氣だと児童も明るく伸びやかに成長していくことと思います。 ・学校ホームページは内容が充実しており、保護者ももとより、各関係者、地域の人にも広く学校生活などの様子が開示されています。 ・スポーツタイム（長縄跳び）のネーミングもいいですね。縄跳びの画像を見ながら児童のやる気が見え、昔の自分たちを思い出しました。	
	働き方改革の推進	学校における働き方改革を具体的に推進する。	【課題や今後の要望】 ・参観日を利用して、「働き方改革」等を保護者と話し合う機会を増やしてもらいたい。 ・児童に対して愛情をもって真摯に向き合い、児童の変化に気付ける職員であるためには、先生方に精神的・身体的余裕がなければならぬ。そのためには、多方面にわたる改革を求める。その中で、具体的に実践されていることはどういったことがあるのか。 ・コミュニティ・スクールの運営は、町民の中にも役に立つ技術をもっている人たちがいます。人材を把握し、うまく子どもたちのためになる人たちを指導者として役に立つようお願いします。 ・「学校便り」の発行をもっと増やし、細かいことまで連絡してもらいたい。先生方は大変なことは思うが、がんばってやってもらいたいものです。 ・HPの毎日更新は大変だと思う。しかし、それがなくてはアクセス数の向上や周知拡大にはつながらないので、今後ともよろしくお願ひしたい。 ・特別支援教育体制の充実については、これからも現在の取組の維持・向上を図っていただきたい。	3.5
積極的な学校情報の発信	学校の方針や取組を広く広報するために学校便りの発行とホームページの活用を推進する。			
特別支援教育体制の充実	適時、適切な校内就学指導を実施するとともに、様々な関係機関との連携を推進する。			